ノ13
2378
1341

遠 2378 134

文化十四年

憐香伴傳奇卷上

市岳文庫

湖上笠翁編次

玄洲逸叟批評

第一齣　破題

西江月　末上　眞色何曾忌色眞才始解憐才物非同類自相猜理本如斯奚怪　奇妬雖輸女子癡情也讓裙釵專將妬痞作情胎不是尋常凝派云云

式亭三馬戲題

如何祖師西来意九年面壁のぬんぐんも苦界十年
お客をゆめとかこつる。ぬハ芦の葉の夫まぐらぬ
うきさふ一ちゞ紅川竹の流れ立る真実ハ色客への
操ハ。不立文字のきれぶしあるべ。
直指人心のぬハきりあり。
心傳心の格子頭。
見性成佛の床の内。
そもそハ本来
無一物。さとりの別。
心外無別法。
迷ひハ
通も
不通。
悟まハ
迷も
睦しくなる。
柳巷花街。
翠帳紅閨。
柳ハ花い
大磯
三浦屋
遊女
古今
大夫
古今
太夫
緊
後
拾遺
相列
小田
原の
米商人
丹波屋
工左衛門
養子
榮三郎
前大徳利
式亭三馬戯狂讃
逢魔さえ
腰ら
下ハ
什麼生
女を
たゝ
一物
も
ふ
。大磯の妓樓
山口巴屋の小二はやゝ。の金藏

草履の
三ぐん菱ハ小笠原
行綱ふたのらゞ
雅乃一ッ射　三馬

○丹波屋の
手代
八郎兵衛

○丹波屋
工左衛門が娘
お妻

甲斐の國
佐るの郡と
ろくし
絵の
三馬
○鎌倉
七里ヶ濱
細お場の
屋女郎
番傘の
お傘
○栄三郎ヶ舎兄
吉里良助
古手屋乃
養女も袖
袖ヶ實母ゑ組

かくしぎの橋も
人うをはけるあり
むし
星のあふ
三馬
○小田原乃
米問屋
丹波屋
左衛門
○丹波屋の主管六郎兵衛
○古手屋八郎兵衛

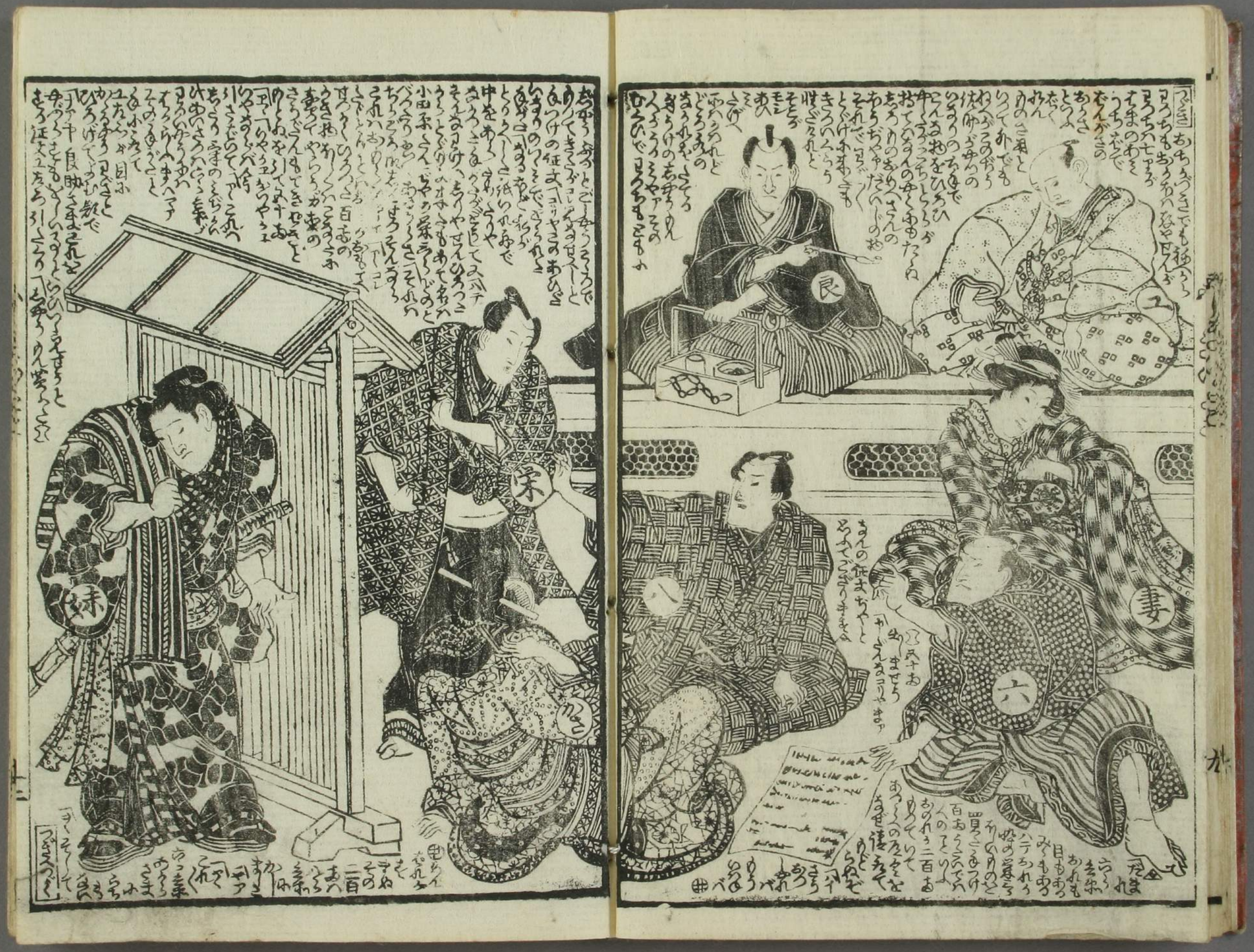
五色潮来節合巻
全七冊 文化十四丁丑
孟春発兌
神垣の玉垣て見れとおのれの根ふかき
夕立や田を二圍の外あらくれ其角

閻帳

三

我もあけくれ
三馬

相撲最手
妹背山芳之助


良
妻
六
宗
味

良
馬つまくべらべら
車屋ばらばら
おかさ
一百あと
一分
丹ば申の
むすこの
どをらく
でをもねる
おフキ
いろく

從東壹
味

良

六

味

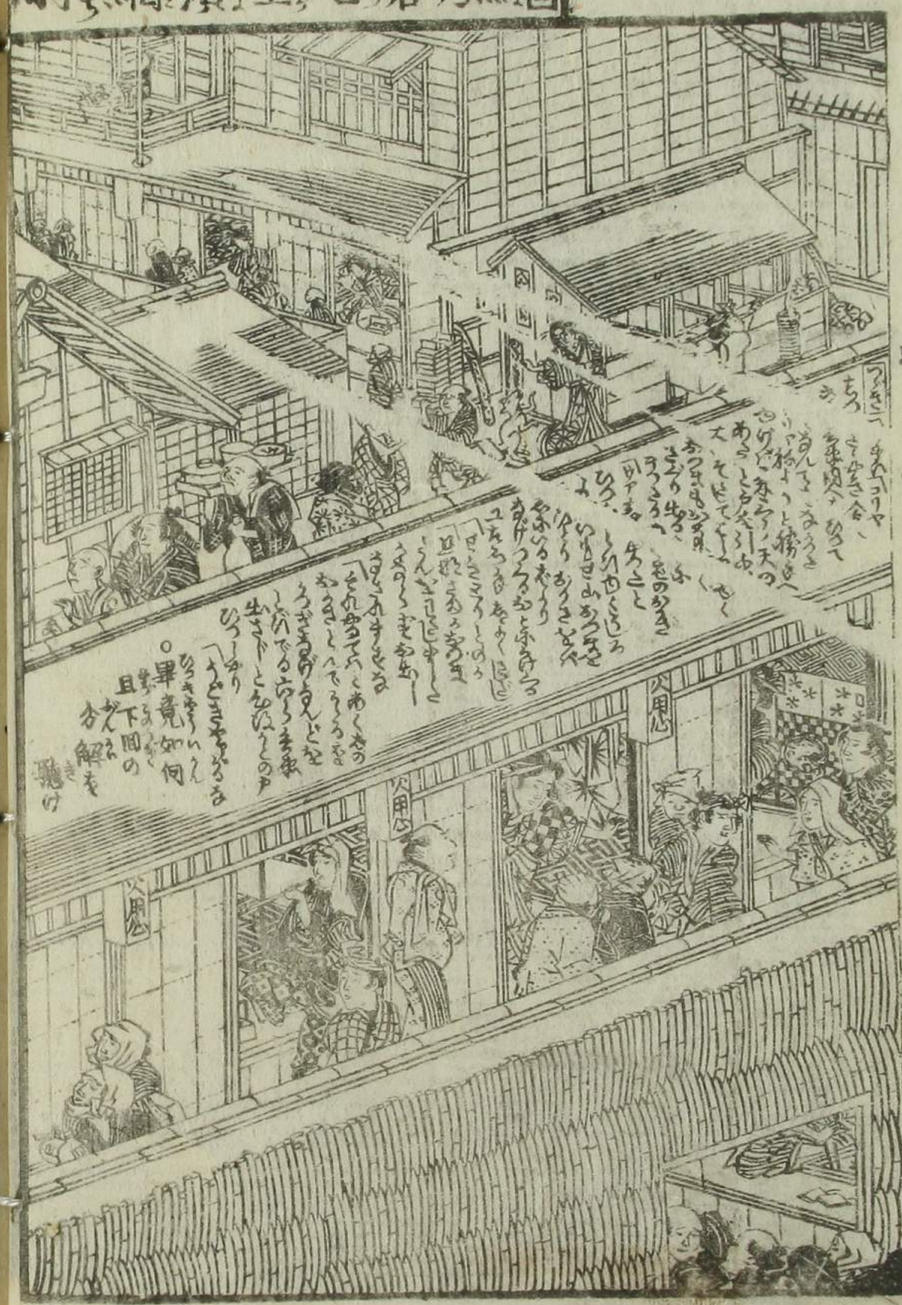
工

大

妻

妹

鎌倉七里濱網打



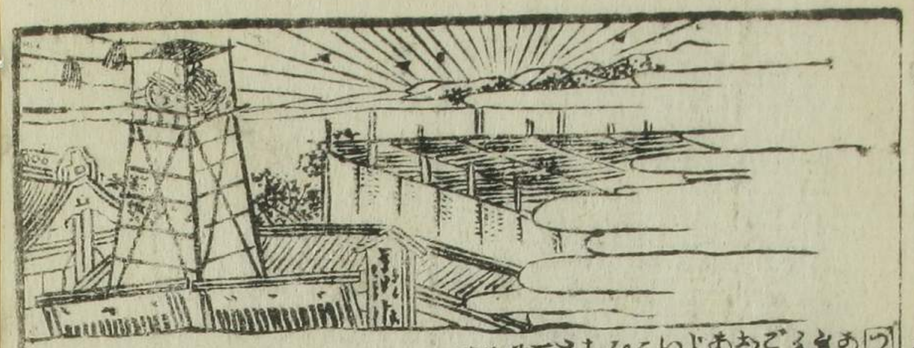
場所局妓院之圖

十八

十七

五郎兵衛宝蔵

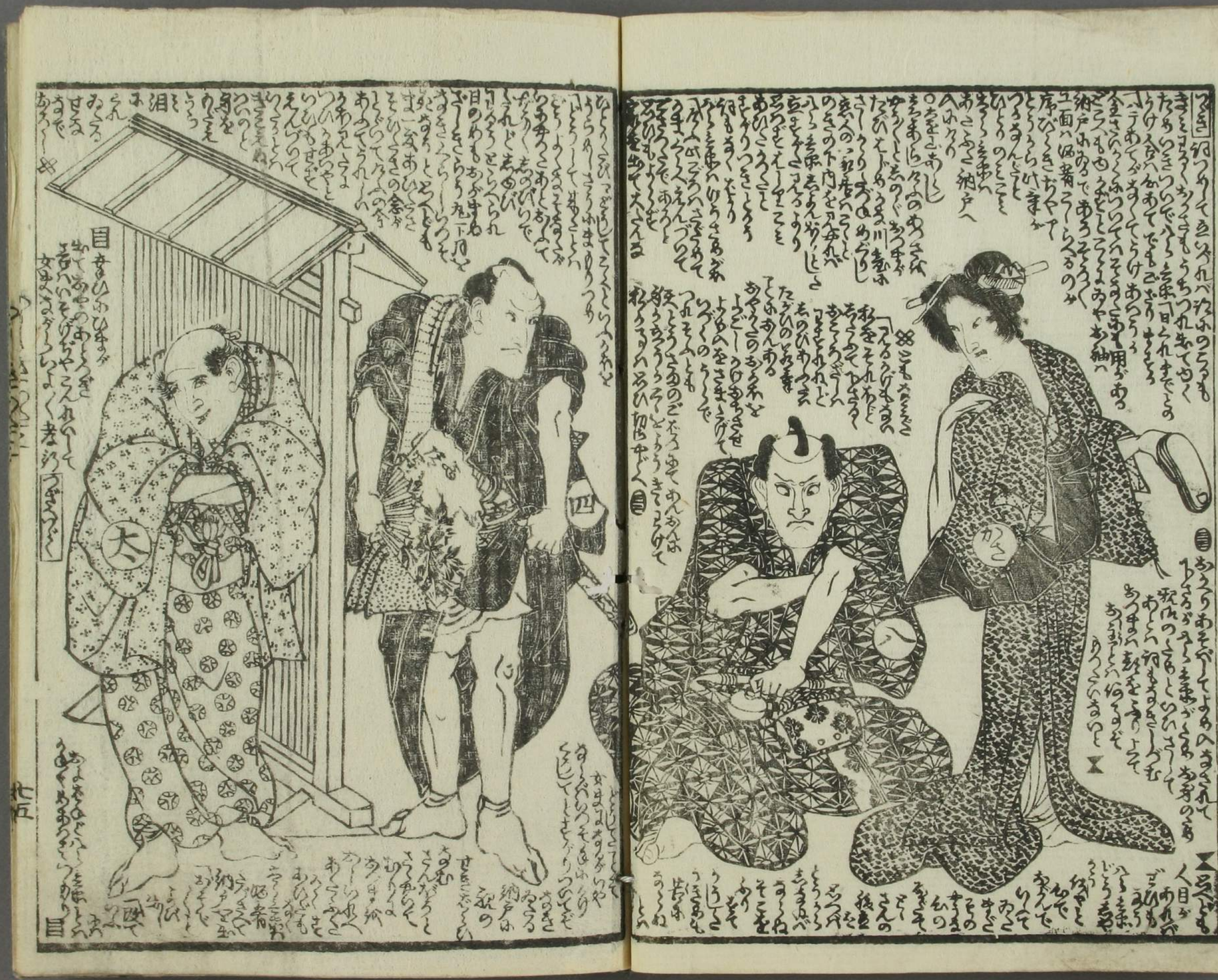
下編 式亭三馬作
歌川国貞画



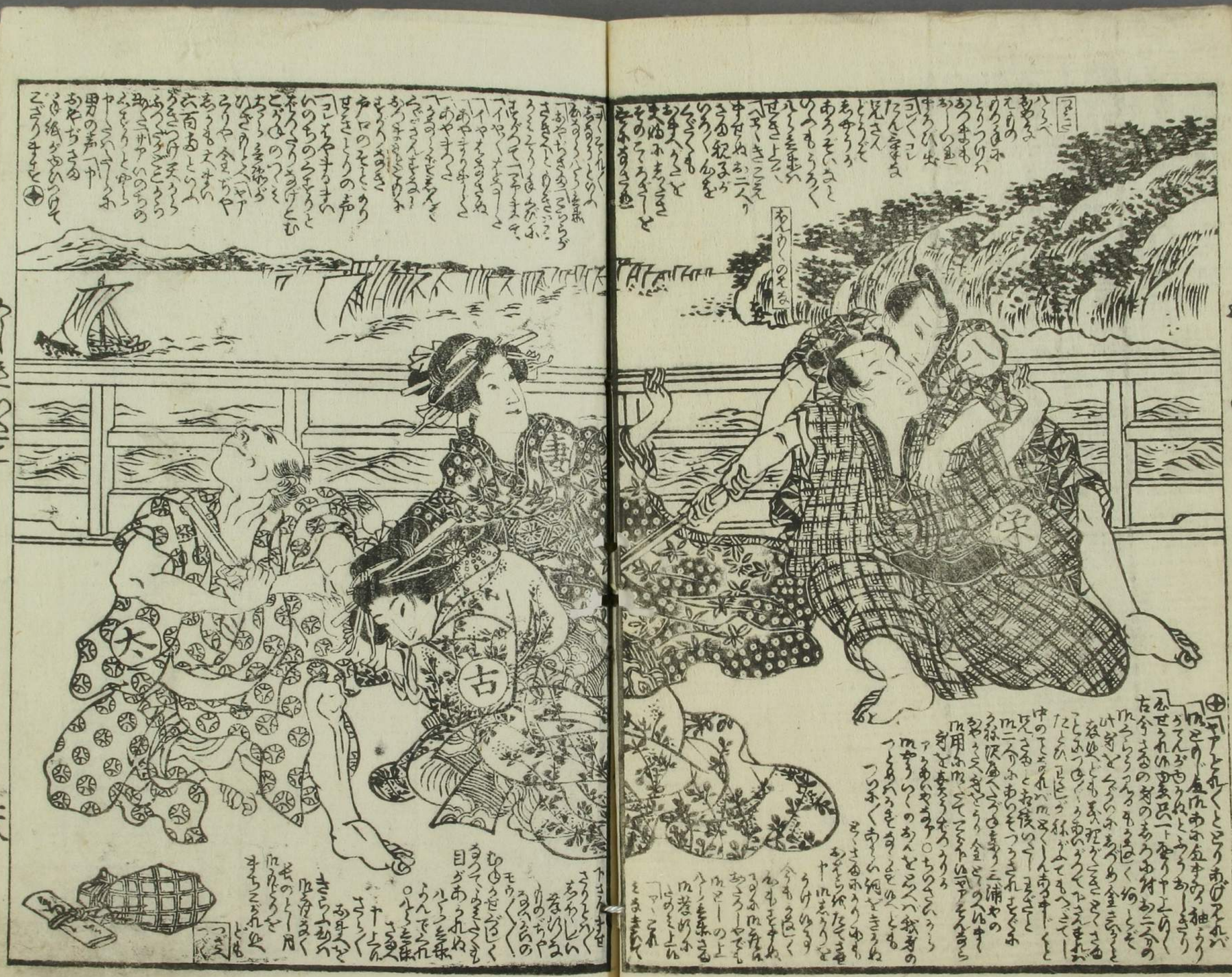
金
殺生禁断

袖
やさ

袖



妹
袖
太


あんりくのそば
太
古
栄

栄
八

妹
大

中央文庫